



題字 大西 一史 市長

令和6年度 熊本市PTA協議会定期総会開催

5月27日(土)に令和6年度熊本市PTA協議会定期総会が開催されました。

熊本市PTA協議会濱石浩二会長の挨拶に始まり、次にご来賓を代表して熊本市教育委員会教育長の遠藤洋路様からご祝辞を賜りました。

次に功労者への表彰が行われ、熊本市長表彰2名、熊本市教育長表彰7名、熊本市PTA協議会表彰2名に表彰状が渡されました。

式典終了後、総会の成立が宣言され、各議案賛成多数で可決承認されました。その中で、「第3号議案 令和6年度役員等改選可決承認」により、花園小学校PTA会長の濱石浩二氏が会長に再任されました。



令和6年度 熊本市PTA協議会活動方針

熊本市PTA協議会は、昭和24年発足以来、子どもたちの健全育成とよりよい教育環境づくり、そして会員自身の資質向上や互いの親睦を図る事業等、様々な活動を行ってきました。

平成28年の熊本地震では、大きな困難の中、学校・地域と一体となり懸命に活動する仲間の姿に、PTAの意義や役割の大きさを再認識しました。

近年、子どもたちを取り巻く環境は、大きく変化し続けています。このような現代を生き抜いていく子どもたちの健やかな成長のためには、保護者・学校・地域がつながりを大事にし、社会全体で見守り育てることが、とても重要です。

政令指定都市となり13年目の本年9月12日・13日、熊本市において、指定都市PTA情報交換会を開催しました。他都市PTAと共に学び、幅広く力強い連携を深め合うことで、子どもたちが明るい未来を切り拓くための「かけはし」となるような有意義な活動をしていきます。

スローガン

「未来ある子どもたちのために 今、できることを」

～ 大人も学び、成長し続けよう～

活動目標

- 1. 子どもの健全育成
・子どもたちが「自ら考え主体的に行動できる人」になるよう育てる
・家庭・学校・地域との連携を深め、家庭教育力の向上に努める
2. 会員の資質向上
・生涯学習の視点に立った研修活動を推進する
・会員相互の共通理解を深めるため、情報の共有と発信に努める
・単位PTAの充実・活性化を支援する
3. 組織運営の改善・充実
・教育環境の整備改善・充実を図る
・関係諸機関・団体との連携・協力を深める
・熊本県PTA連合会との共同事業を継続発展させ、さらなる連携・協力を図っていく

熊本市PTA協議会
会長 濱石 浩二
編集責任者 中釜 裕二
〒861-8074 熊本市北区清水本町16-10
熊本市健康センター清水分室新館2F
TEL(288)3750 FAX(288)3754
http://kumamotocity-pta.net
info@kumamotocity-pta.net
印刷：(株)キャップ TEL(362)3333

会長あいさつ



熊本市PTA協議会 会長 濱石 浩二

今年度も引き続き熊本市PTA協議会会長を務めます。西区花園小学校PTA会長の濱石浩二です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、令和6年度定期総会が会員の皆様のおかげで滞りなく終了したことにより、本年度も熊本市PTA協議会の活動がスタートしております。

皆さんご存じの通り、PTAは社会教育法に規定されている社会教育団体です。保護者と先生方で構成されるPTAは「子どもたちのために」とよく言われていますが、子どもたちのためばかりではないと私は思います。私たち大人にとっても、学びや成長があり、何より繋がりが生まれる大切な場ではないでしょうか。

刻々と変化し続ける社会の中において、大人が同じ目的を共有し、達成に向けて進み学んでいる姿勢は、子どもたちのお手本となることができます。また、PTAが核となり、学校と地域を巻き込んで大きなコミュニケーションを作ることが、そこに生きている子どもたちにも我々大人にとっても、繋がりが深まり、安心して暮らせる大切な場となるのではないのでしょうか。

本年度も、私たち大人一人ひとりが、PTA活動に参加することへの意義や楽しみを見出せるような組織作りにより、本協議会は邁進していきたいと思います。

先日9月12・13日両日に、全国の政令指定都市PTAの代表が一堂に会しての「第79回指定都市PTA情報交換会熊本大会」が開催されました。この大会は、各都市の情報交換を密にしなが、連携を深めることができる歴史ある大会です。熊本は、平成28年4月の熊本地震、令和2年7月の県南部を中心とした豪雨という大きな災害を近年2度も経験し、お互いが繋がることの大切さを再認識した上で、今だけではなく未来へのことを考えての活動が増えてきました。そこで熊本市大会においては、この経験を活かし、「繋がる」ことの大切さと、未来への「かけはし」となる活動を考えることを念頭におき、今日の様々な課題解決のため、またPTAが期待されている役割について学びを深める場となりました。お陰様で大会は盛会に終わり、参加された皆様がとても満足する会となりました。この大会での様子を熊本市PTA会員の皆様にもぜひ共有したいと思い、11月の市P研究大会ではダイジェスト版をお送りします。皆様のご足運を運んでいただければ幸いです。

退任者代表挨拶
私にとってPTAは、保護者として、社会人として、価値観を変えてくれた学びの宝庫でした。令和2年度から4年間、市P理事役員を務めていただきました。
新任者代表挨拶
「熊本市PTA協議会副会長、北区PTA連絡会代表幹事、龍田」
学校と保護者が繋がることで、子どもたちの環境が整い、地域と繋がることで、子どもたちの安全安心心が保たれます。そして、区を越えて繋がる市Pで、私たち大人が繋がりが様々な経験を子どもたちに還元しサポートしていきます。これがPTAの意義ではないでしょうか。

令和6年度 熊本市PTA協議会役員



(敬称略)

Table with columns: 役職名, 所属, 氏名, 区, 学校名. Lists various roles like 会長, 副会長, 幹事, 監事, 指導員, etc., and their corresponding names and schools.

令和6年度 会長理事・市P担当副会長理事 合同研修会

7月6日(土)に、令和6年度会長理事・市P担当副会長理事合同研修会が開催されました。

全体会

全体会では、熊本市立必由館高等学校校長の上野正直氏が、「リーダーを楽しもう」の演題で、講演されました。

上野先生は、現職の必由館高校で今年度よりスタートした「文理総合探究科」の例を挙げられました。

みなさんご存知のように、総合的な学習の時間は、変化の激しい社会に対応するために各教科の枠組みを超えて行う探究学習の授業です。高校においては、自尊感情や社会性、将来のキャリアデザインや他者理解、課題発見・解決力、コミュニケーション能力、社会文化の探究力やリーダーシップを高めます。必由館高校では、この学習を生かし、熊



本の農産物や観光の未来を見据えた活動等を通して、持続可能な社会の作り手となる、そして多くの人を動かすソーシャルムーブメント、変革の担い手となる生徒を育成しているそうです。

この探究学習により、次世代のリーダーが育っていくと感じました。このような経験は、学校だからこそできることではありますが、探究学習を子どもたちが深め、楽しむためには、保護者や地域の方々との協力も必要不可欠です。

上野先生からのメッセージで、「社会に貢献できる人、何かしら社会のために自分ができることがあるのではないかと考えを持つ人、そのような力を持つ人は全てリーダーだ」という言葉がとても印象的な講演でした。

市削小学校 会長 下田亜天子

部会

全体会の後の会長部会・市P担当副会長部会では、どちらの部会も、日頃のPTA運営における情報交換が行われました。「PTA役員のなり手不足の解消のために」「PTA任意加入に伴う会員数について」「地域との関わり方」など、色々なテーマでグループディスカッションに花が咲きました。

参加されているみなさんの学校の規模や環境はさまざまですが、同じ悩みや課題を抱える者同士、「子どもたちのために」という熱い思いで繋がっていると感じました。

役員の経験がなく、会長1年目の私は、今回の研修会に参加して、悩みを共有でき、解決のヒントを与えてくれ、ざっくばらんに情報交換できる仲間がたくさんいることが分かり、とても心強い気持ちになりました。子ども

もたちの笑顔のためにできることは何か、これからも考え続けていきたいと思えます。

清水小学校 会長 志田 賢二



会計研修会

6月12日(水)熊本市中央公民館にて、熊本市PTA協議会主催、講師に武部道孝税理士事務所より山下一重氏をお招きし「会計実務研修会」が開催されました。

山下氏は、「基本的な考え方として、分かりやすく簡潔に、誰が見てもお金の流れが分かるようにする。明朗会計を行うことが原則である」と説明されました。また、PTA会計用語の説明、一般会計と特別会計の違いなど参加者全員真剣に聴き入る場面が多くありました。

PTA予算管理については、事務的な負担軽減や合理化を考慮するためにもいろいろな方と情報交換し、情報を共有して積極的に取り入れて行く事が一番の近道であると話されました。

質疑応答では、コロナ禍以前のバザーの収益金があるが、その後バザーを行っておらず、どうすれば良いのか、また、150周年運営に関わる「周年準備積立金」について、生徒数も少ない学校なので不足を補う方法など様々な質問が出ました。

各テーブルごとのグループトークの時間は、PTA会費集金方法等の情報交換の場となり、会場が静かになることもなく、あつという間の30分でした。グループトークが終わった後のみなさんの表情は清々しい笑顔でした。



PTAをどのように運営していくのか、より良いPTA活動を行うためにも、役員会や運営委員会ですっきり話し合いを行うことが大切であると学びました。

芳野小学校 副会長 久保由紀子

熊本市PTA協議会
小・中学生総合保障制度のご案内
(子ども総合保険)

学校内外でのケガや、偶然な事故による法律上の損害賠償責任などさまざまなリスクを補償します。

学校の休み時間に階段で転んでケガをした。

自転車で走行中、他人にぶつかってしまいケガをさせた。

さらに、お子さまが病気になった時の補償や、お子さまの持ち物の補償、扶養者の方に万が一があった時の補償など、多くの補償をお子さまをお守りします。*

扶養者が不慮の事故で亡くなってしまった。

体育の授業中にボールが当たり、眼鏡が壊れた。

虫垂炎が悪化、腹膜炎を併発し、10日間入院し、手術を受けた。

この制度の詳細内容は、こちらからもご確認いただけます。
『小・中学生総合保障制度』 <https://www.pta-corin.com/>

※補償内容、保険金額はプランにより異なります。
○この広告に記載の内容は、2024年1月現在の内容です。
ご加入の際は、パンフレットおよび重要事項説明書を必ずお読みください。上でお申し込みください。

お問い合わせ
熊本市PTA協議会 小・中学生総合保障制度事務局
TEL:0120-228-553

受付時間：平日/午前9時～午後5時 〒810-0022 福岡市中央区薬院4-3-5 セレス薬院5F 株式会社コーリン内
制度引受保険会社：AIG損害保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン(株)、三井住友海上火災保険(株)、Chubb損害保険(株)

S-240509(2024-12)

P災コース

小中学校の児童生徒 500円(年額)
高等学校の生徒 800円(年額)
部活動指導者 500円(年額)

安互コース

PTA会員(保護者・教職員等)...150円(年額)
PTA活動の指導者・支援者...150円(年額)

給付対象となるのは以下の通りです

P災コース 児童・生徒

- PTA活動に参加中の事故によるけが・急性の疾病(死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故)
- 学校での事故によるけが・急性の疾病のうち障害が残るもの死亡に至ったもの、交通事故、歯科保険外治療が必要なもの

安互コース保護者(PTA会員)

- PTA活動に参加中の事故によるけが・急性の疾病(死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故)
- 学校行事に参加中の事故によるけが・急性の疾病(死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故)

熊本市PTA共済

P災コース 97%
(児童・生徒)加入率 約 R4年度県内加入者 (約184,000名)

安互コース 96%
(保護者)加入率 約 R4年度県内加入者 (約145,000名)

こんな時、安心です!

▼給付について「たとえばこんなときに...」

登下校中で 事故によるけがなどがあったとき 助けとなるのがPTA共済です

学校で、部活動で PTA活動で

詳しくはホームページをご覧ください
★手続きは各学校PTA共済担当者へご連絡ください。

熊本市PTA共済 検索

(財)熊本市PTA教育振興財団 〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町3-7 熊本市総合福祉センター4F

市Pバレー開催！ご参加ありがとうございました！

第51回熊本市PTAソフトバレーボール大会を、9月1日（中央区・東区・南区・北区）と7日（西区）に、101校102チーム参加のもと市内16会場で開催いたしました。

本大会は、熊本市PTA協議会の大きなイベントの一つで、「さわやかな汗に会員相互の交流と親睦を深めよう」を合言葉に、勝ち負けよりも保護者と先生方、保護者同士の交流と親睦を目的として、長きにわたって開催しております。参加された皆様、大会はいかがでしたでしょうか。皆様を楽しめたことにより、各学校の親睦が深まり、今後のPTA活動の発展につながれば幸いです。

Table with 5 columns: 区 (Area), 会場 (Venue), 優勝 (Winner), 準優勝 (Runner-up), 3位 (3rd place), 他、参加校 (Other participating schools). Rows are categorized by area: 中央区 (Central), 東区 (East), 西区 (West), 南区 (South), 北区 (North).



中央区・京陵中学校会場

7校が集まった中央区京陵中学校会場では、五福小PTAの黒瀬会長による場を盛り上げる選手宣誓に始まり、最後まで熱いプレーが繰り広げられました。開始直後はまだまだボールの音が響いていた会場でしたが、試合が続くにつれ、ボールの音も選手の声もかき消す勢いで応援が盛り上がりつつありました。



表彰式の様子 濱石浩二会長(右)

み、白熱した試合展開に。観戦している方々も試合の行方に手に汗を握った試合でしたが、京陵中が勝負を制し、大会は幕を閉じました。本会場では、どのチームもとても団結力があり、仲良くプレーをされていました。また、自校だけでなく、他校とも楽しくお話をされている姿に、本大会の意義を感じることができた時間となりました。

「第72回日本PTA全国研究大会 川崎大会」「第56回日本PTA関東ブロック研究大会」

ウェルビーイングの実現を、川崎の地から「活かそう縁」の力

第72回日本PTA全国研究大会 川崎大会が8月23日、24日の二日間に行われ開催されました。市Pから17名が参加し、各講演会、セッションの間に全国のPTA関係者との意見交換の時間も設けられ、さまざまな情報交換が行われました。

全体基調講演では、「誰もが幸せに暮らせる社会の実現に向けて」というテーマで、西野博之氏の講演が行われました。西野氏は、2001年に全国で初めて子どもの権利に関する総合的な条例である「川崎市子どもの権利条例」の策定に関わり、川崎市子ども夢パーク所長を務められました。

講演では、子どもから大人へのメッセージとして「まず、大人が幸せでいてください。大人が幸せでないと、子どもに虐待と体罰がおきまします。まず家庭や学校、地域の中で、大人が幸せでいて欲しいのです。子どもはそういう中で、安心して生きることができません」と語られました。確かに、親が幸せでないといふのは、多くの人が納得することだと感じました。



日P川崎大会に参加した市Pメンバー

また、「子どもの力を信じる」ことが大事で、答えを出してあげることが大人の役目ではないと説明。「大人にしっかりと話を聞いてもらった子どもたちは自分の中から答えを見つけていき、自分で決める」と強調されました。私たち保護者に対してもメッセージが送られました。それを紹介します。親だつて失敗していい。子どもが7歳なら自分も親になって7歳。完璧に「正しい親」を頑張らなくていい。この言葉を聞いてそう思ったほうが心にゆとりを持って子どもと向かい合うことができるのではないかと感じました。

Table with 3 columns: カリキュラム (Curriculum), テーマ (Theme), 講演者 (Lecturer). Rows include special sessions, general sessions, and commemorative lectures.



日P川崎大会会場の様子

8月 23 金 24 土

(託麻東小学校 会長 中釜 裕二)



PTA活動は
ふるさとづくり

私はPTA活動は、子どもたちのふるさとづくりを担う活動だと思っています。保護者の意思で縁が繋がれた地域で子どもは育ちます。その中の学校生活で、保護者が手を取り合い、学校とも連携して、より良い学びの環境を作っていくPTA活動は、ふるさとづくりと言えるのではないのでしょうか。

出水南中学校では、今年度クラスマッチバレーというPTA活動を行いました。保護者と担任の先生が、子どものクラスに分かれてバレーを通してコミュニケーションを持つ活動です。早くから保護者にも声をかけさせていただき、先生方へは職員会議に伺い呼びかけをさせていただいて、当日は保護者が100名以上、先生方も20名以上参加いただき、盛大なイベントとなりました。終了後、ある保護者から「子どもからは担任の先生は嫌い」と聞かされたので、良くない先入観がありました。が、一緒にバレーをしてコミュニケーションを取ってみると、とてもいい人でした。子どもに言ってみます」と笑顔で感想を言っていたので、家族だけでのコミュニケーションが、PTA活動を通して、保護者同士や学校との繋がりを持つ機会になったと思います。

この様な活動を重ねていくことで、人と人が繋がりが合い、豊かな地域ができるかと私は信じています。皆さまの地域が、子どもたちにとって誇りに思えるようなふるさとになることを願っています。

熊本市PTA協議会副会長
中央区代表幹事 原田 英之
(出水南中学校)

城東小学校の紹介

中央区「城東小学校」

すべての教室から熊本城を望むことができる絶好のロケーションは、城東小学校だけの特権です。

さらに、隣接した藤園中学校と運動場が繋がっているため、校庭にはたつぷりと贅沢な空間が広がっています。この恵まれた環境の中では、熊本城をバックにした映える瞬間が、年に3度も訪れます。新学期が始まって間もない5月に行われるのは、成長した子どもたちの勇姿が眩い運動会。校区の盆踊り大会は10月の秋祭りに姿を変えましたが、フィナーレを飾る勇壮な花火は健在です。

そして1月には、私史上最大級「バチバチと炎を巻き上げる庄巻の「どんどや」が、地域の皆さんと共に開催されました。



託麻南小学校の紹介

東区「託麻南小学校」

託麻南小学校は、昭和59年4月に託麻西小学校の分校として長嶺町現在は長嶺東に開校しました。昨年度で創立40周年を迎え、様々な記念行事を行いました。

一例を挙げると、全校児童と先生のみならず、約1000個の風船が青々とした空に一斉に上がっていく景観はとも素晴らしく、きつと記憶に残ったと思います。

そしてPTA主催のイベント「たくなんランド」9つのブースを同時開催し、参加される方が自由に楽しんでいただける遊園地のようなものを実施しました。

1番人気だったブースは移動動物園で、いつも授業や休み時間を使う運動場に様々な動物がいるということに興味する

山本小学校の紹介

北区「山本小学校」

本校は明治35年開校という歴史ある学校です。場所は、山鹿市と境界を接しています。

植木インターチェンジには高速バス乗り場があり、福岡方面へ向かう「ひのくに号」をはじめ、長崎市に向かう「昼行の高速バス」、京都市、大阪市、神戸市など本州各地に向かう夜行バスもあり、交通の面でも大変便利な位置にあります。

本校では児童に植木特産のスイカ作りや、もち米作りを行っています。子どもたちで苗を植えて収穫し、スイカを食べるという経験を行っています。

また、全校児童74人とこのこともあり小規模特認校制度（ハーモニースクール）を導入



東小学校は、やがて150周年を迎え、その先には、校舎建て替えなど、大きな節目を迎えますが、これからも変わらず、マチと共にある小学校として、健やかな成長を続けていきます。
(城東小学校 副会長 伊勢 康之)

児童がたくさん見られました。更には本校の卒業生の村上宗隆選手(東京ヤクルトスワローズ所属)から祝辞、児童への応援メッセージをいただきました。

さて、周年行事のことばかりで学校の紹介が全然できていませんでした。正門を入ってすぐの所に本校のシンボルツリーの「しいの木」があります。この木は学校建築場所に自生していたシイを移植したもので、学校よりも古くから地域を見守っています。

その他、自治協議会を始めとした地域の諸団体とも連携し、史跡巡りやスポーツ活動を行っています。



PTAとしては、このような様々な活動を保護者が楽しんで実行し、児童たちにより楽しんで活動していける環境を作りたいと思います。
(託麻南小学校 会長 坂木 公祐)

生徒・先生・保護者の
笑顔あふれる学校

西区「河内中学校」

本校は全校生徒70人の学校で、みかんや海苔が全国的に有名な地域にあり、ます。生徒、先生、保護者の距離が近く、笑顔あふれる温かい学校で、素直で何事も一生懸命に頑張る子どもたちは地域の宝です。校訓「自主自立の人」を大切に、学校教育目標「自他を尊重し、主体的に考え行動できる生徒の育成」に向かい、学校・家庭・地域が連携して教育活動を行っています。

市内であればどこからでも通学することができます。

今後中学校、家庭、地域が連携して教育活動の充実と発展を目指していきたいと思っています。
(山本小学校 副会長 三嶋 恵介)



力合中学校の紹介

南区「力合中学校」

力合中学校は、平成5年に城南中学校より分離し、開校いたしました。学校の周辺には公園や畑の緑、アクアドームや南部総合スポーツセンター等の公共施設もあり、子育て環境がとて

も充実しています。また、西熊本駅が開業し商業施設も増え、益々の盛り上がりを感じる活気あふれる町となっています。

令和6年度は、生徒数596名です



ターゲットしました。本校は校訓に、「誠実・健康・探求」を掲げています。目指す生徒像を、「誠実に人事に尽くす生徒。健康で規則正しい生活ができる生徒。自ら選んで学ぶ想像力豊かな生徒」とし、先生方と保護者、そして地域の方々三位一体となり目指す生徒の姿に向けて取り組んでいます。

本校の教育目標は、「主体的に考動し、共に高めあう生徒の育成」。生徒が主役、笑顔咲き安心して過ごせる学校づくりがテーマです。生徒たちに「笑顔」が生まれ、「感動」を通して、「自信」が育まれるような環境づくりを、私たち力合中PTAも地域の方々と協力し、後押ししてまいります。
(力合中学校 副会長 金子 秀作)



野球場が九電旗で初優勝、市巾連で女子ソフトボールが優勝、相撲が団体・個人戦優勝、柔道が個人戦優勝などスポーツも盛んで、体力向上優秀校でもあります。また、生徒の豊かな心を育む「道徳教育」に力を入れており、昨年度に引き続き、2学期のPTA授業参観時には、生徒・保護者先生が共に考え、議論する「保護者参加型の全校道徳」を体育館で実施予定です。私たち保護者も、子どもたちと共に道徳的課題について語り合うことを楽しみにしています。
(河内中学校 会長 潮崎 大地)

編集後記

前期では、定期総会や市Pバレーなどの大きなイベントが開催されました。それぞれの単Pにおかれましても、様々な活動を計画されていることと思

います。全てを記事にはできませんでしたが、本誌が様々な活動を紹介することで、会員の皆様のPTA活動に少しでもお役に立てれば幸いです。

最後に、141号編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。
広報委員長 中金 裕(託麻東小)

- 141号編集委員(順不同/敬称略)
- 宮本 崇大 (弓削小)
- 志田 賢一 (清水小)
- 久保由紀子 (芳野小)
- 伊勢 康之 (城東小)
- 作村 舞 (託麻南小)
- 三嶋 恵介 (山本小)
- 金子 秀作 (力合中)
- 高崎 貴之 (河内中)